

医工連携推進協議会通信

令和 6 年春季・夏季号（令和 6 年 7 月発行）

【ごあいさつ】 会長 田部長右衛門（松江商工会議所会頭、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会長）

本協議会の構成団体、並びに賛助会員企業の皆様におかれましては、日頃より本協議会の事業活動に対し、多大なるご理解とご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

このたび「中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会長」の交替に伴い、今年度から 2 年間、本協議会長を務めることとなりました。今後さらに産業界と行政との連携を強めるとともに、引き続きニーズ収集と情報提供に力を入れていくことで、賛助会員企業相互のマッチングを推進していく所存でございます。

本協議会は、中海・宍道湖・大山圏域市長会の委託を受け、平成 29 年（2017 年）10 月の設立以降、今年度で 8 年目を迎えました。中海・宍道湖・大山圏域の医工連携の推進を目指し、精力的に活動してきました結果、徐々に成果を上げてきているところではありますが、ここ数年来の新型コロナウイルス感染症の影響による急激な社会状況の変化に対応した、より一層効果的かつ積極的な事業運営が求められています。本協議会としましては、この変化を一つの契機ととらえ、ステップアップした事業展開を図りたいと考えているところでございます。

令和 6 年度におきましては、「医工連携のビジネス化の推進」、「圏域外の部材供給先の探索と具体的な商談作り」など 10 項目の重点指針（裏面参照）を掲げております。これにより、中海・宍道湖・大山圏域の行政連携をベースとした本協議会の特性を活かしながら、医療機関・福祉施設・産業界にもメリットのある「創造的な医工連携推進事業」を組み立てていきたいと考えています。

構成団体・賛助会員企業の皆様には、引き続き本協議会の事業活動への積極的な参画をお願いいたしまして、会長就任並びに新たな事業展開に向けてのご挨拶とさせていただきます。

令和 6 年度「中海・宍道湖・大山圏域 産学・医工連携推進協議会総会」

～令和 6 年 6 月 28 日・書面審査により開催～

令和 6 年度の本協議会通常総会は、令和 6 年 6 月 28 日付けで書面審査により開催し、全会一致で成立しました。なお、ご都合の付いた各構成団体の委員には、事務局員が事前に訪問して説明と意見交換を行いました。

- ・議案第 1 号 令和 5 年度事業報告並びに収支決算について【報告・承認案件】
- ・議案第 2 号 令和 6 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について【議決案件】（※事業計画指針・裏面に記載）
- ・議案第 3 号 本協議会規約の一部改正について【議決案件】（※事務局の所在地変更）
- ・議案第 4 号 令和 6 年度役員改選について【報告・承認案件】

会長：田部長右衛門（新任） 副会長：水研二（中海・宍道湖・大山圏域市長会事務局長・再任）

監事：松浦俊彦（松江商工会議所専務理事・新任） 桑垣宏二（松江市産業経済部長・新任）

委員：上記 4 名のほか、各構成団体から選任された 12 名（新任 3 名・再任 9 名）

本協議会は、これに基づき令和 6 年度事業を積極的かつ効果的に実施して参りますので、構成団体・賛助会員各位のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

【ビジネスマッチング 商談・展示会 2024 in 安来】（中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業）

「山陰（鳥取・島根）最大級の B to B イベント！」ものづくり企業を中心に、圏域内外から幅広くエントリーを募り、企業間の取引拡大・連携強化を図る山陰最大級の商談・展示会が、下記のとおり今年度も開催されます。

■日 時：令和 6 年 10 月 31 日（木）9：00～16：30

■会 場：安来市総合文化ホール アルデピア

■参加費：無料（商談希望の場合はエントリー必要）

■エントリー受付期間：8 月 2 日（金）まで

（HP <https://www.shoudan.info/>）

■お問合せ先：中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会

事務局・松江市ものづくり産業支援センター

（TEL:0852-60-7101 FAX:0852-25-0300）

エントリー
募集中！



中海・宍道湖・大山圏域 産学・医工連携推進協議会 令和6年度事業計画（指針）

本協議会は、これまで中海・宍道湖・大山圏域（以下単に「圏域」といいます。）においてセミナー開催や視察研修等の啓発活動をはじめ、具体的に事業を推進する「産学・医工連携推進プロジェクト」を構成し、数多くの圏域のものづくり企業等に賛助会員として入会いただいたほか、新たな医療機器等の製品化を行うために、圏域の医療機関や介護施設等のニーズと賛助会員とのマッチングを図る等、様々な事業を展開してきました。

令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、三密の回避、マスク着用、うがい・手洗いの励行等を厳守しながら効果的な活動を図ってきたところですが、医療機関・福祉施設はもとより、あらゆる場面で人との接触を避けざるを得ない社会状況から、会議、セミナー、講演会、訪問調査等の中止を余儀なくされました。

しかしながら、そのような状況の下で、令和2年度はコロナ感染から医療側を守るというテーマ（医療従事者・救急隊員の保護）に取り組み、「エアロゾルボックス」2商品の開発を支援し、製造・販売のマッチングを図って上市することができ、令和3年度は樹脂製の歯周ポケット測定器具「Pkensa」、不織布マスク用呼吸補助具「マスクサポート」の開発・販売を支援し、令和4年度は医療従事者の感染防止に資するための医療廃棄物容器電動開閉装置「ミューカス」の開発を行い、令和5年度はまだ発表には至っていませんが、有望な複数の開発案件を取り扱っています。

このような成果やマッチングを行ってきた経緯を踏襲し、今後更に新たな医療機器開発支援事業を充実させるために、今年度においてもこれまでと同様、下記10項目の指針を掲げ、事業を展開していきます。

- (1) 現在進行中の案件の具現化
- (2) 医療機関等から得たニーズの再検討
- (3) 大学とのマッチング協力の推進
- (4) 圏域外の部材供給先の探索と具体的な商談作り
- (5) これまでの実績の検証と今後の方向性の検討
- (6) その他必要な業務（既存人脈の活用、人材養成、賛助会員相互交流等）の実施
- (7) 医工連携のビジネス化の推進
- (8) 各市・各県施策の横軸的役割化
- (9) 「医・工・福」連携の推進
- (10) 何でも相談機能の充実

これまでの
主な開発製品

胃マクラ



エマークイックプロ

ミューカス



Pkensa



本協議会は、14の構成団体・86社（総会時）の賛助会員企業のみならず、圏域の医療機関・福祉介護施設・ものづくり企業が一丸となって、圏域の発展に繋がる取組みの推進を目指します。

第36回 ものづくりワールド東京

【R6/6/19~21・東京ビッグサイト】

（機械要素技術展、ヘルスケア・医療機器開発展ほか）参加報告！

毎年恒例の大規模展示商談会「第36回ものづくりワールド東京」が6月19日~21日に東京ビッグサイトで開催され、事務局から2名が参加して各種の情報収集を行ってきました。出展社数約2,000社・来場者数約7万人に上る大規模な製造業関連のイベントであり、本協議会構成団体である「しまね産業振興財団」・「鳥取県産業振興機構」がそれぞれブースを設けられ、本協議会賛助会員企業からは下記の8社が出展されていました。

【鳥根県・3社】 ・城東化成株式会社（安来市） ・株式会社ファデコ（安来市）
・樋野電機工業有限会社（松江市）

【鳥取県・5社】 ・有限会社エイブル精機 ・株式会社A&M ・協同電子株式会社
・株式会社菊水フォーシング ・鳥取県金属熱処理協業組合（いずれも米子市）



【事務局からのお知らせ・お願い】

〈担当〉事務局：大江淳史・山根修 アドバイザー：眞野博光

TEL：(0859)57-5226 Email：keniki-ikou@sea.chukai.ne.jp

賛助会員企業の皆様へ：

- ・紹介ページの内容に変更等がありましたら、メールで変更内容をお知らせください。
- ・まだ紹介ページを作成されていない賛助会員は、随時申込みを受け付けています。
- ・製品、技術紹介ページも引き続き募集していますので、情報提供をお願いします。

構成団体の皆様へ：

- ・本協議会の活動推進のため、医療機関、福祉施設、介護施設等からのニーズを常時収集しています。紹介いただける施設等がありましたら、ぜひお知らせください。
- ・今年度の事業計画の一つである「医・工・福連携」を推進するため、賛助会員に加入いただける医療機関、福祉団体等がありましたら、ぜひ事務局にご紹介ください。

情報募集中！

HP・QR

